

奥沢水源地 保存・活用検討委員会 第 3 回

～ 基本方針とゾーニングについて ～



堤体からの眺め

目 次

- | | |
|---------------|----|
| ① ビューポイントについて | P1 |
| ② 奥沢水源地の課題 | P4 |
| ③ 基本方針（案）について | P6 |
| ④ゾーニング（案）について | P9 |

①ビューポイントについて



小樽市総合博物館所蔵

放水路上部から取水塔を望む(創設当時)



ビューポイント追加写真



追加①堤体前園路からの眺め



追加③浄水場の眺め

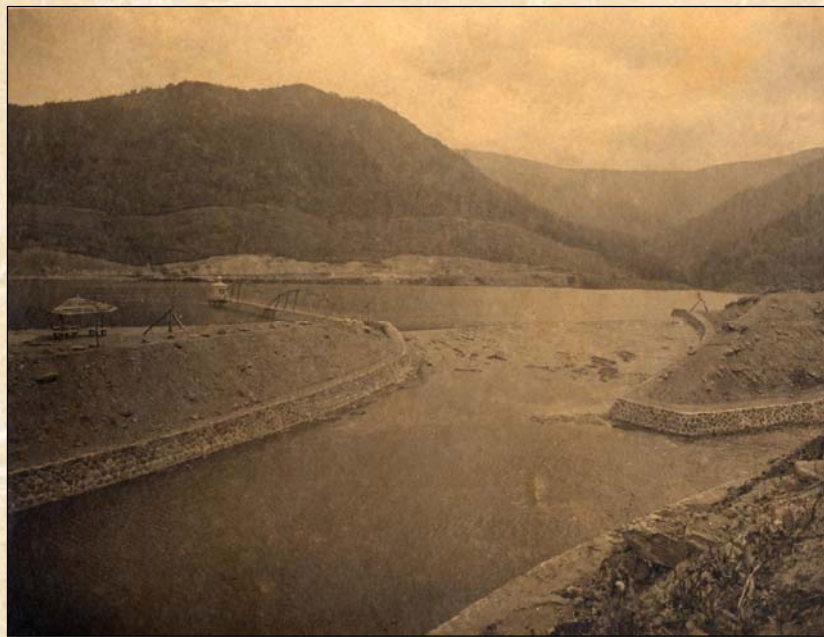


追加②二股沢川対岸からの眺め



追加④水源橋からの眺め

②奥沢水源地の課題



放水路から貯水池を望む(創設当時)

奥沢水源地の課題

① 歴史的資産をどのように保存・活用するか

- 課題1 創設水道施設であったことを後世に伝承すること
- 課題2 貯水池に水が満たされていた頃の面影を残すこと

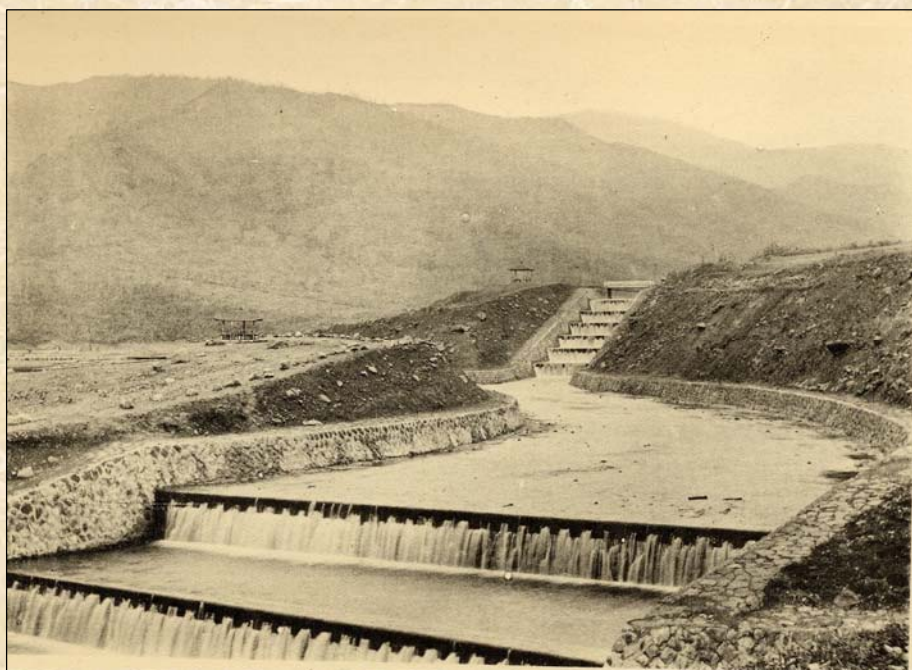
② 自然景観をどのように保存・活用するか

- 課題1 自然景観を生かした利用のあり方を創出すること
- 課題2 歴史的資産と自然景観の調和を演出すること

③ 市民の憩いの場をどのように創出するか

- 課題1 来訪者が安心して利用できる場を創出すること
- 課題2 公園緑地としての位置づけを踏まえた利用形態とすること

③ 基本方針(案)について



階段式溢流路から放水路を望む(創設当時)

基本テーマ（案）

歴史と自然の調和による 市民が憩える親水空間の創出

～先人の知恵に学び、小樽の水の歴史を伝承します～

奥沢水源地は、奥沢ダムや緩速ろ過池など、先人の知恵と努力により、衛生・生活・経済・防災の分野で小樽市の発展を支えてきた小樽水道のはじまりとなる施設（創設水道施設）です。

また、奥沢水源地が織りなす風景は、100年前からの小樽の原風景を残し、階段式溢流路の「水すだれ」や四季折々の景色などが市民に親しまれてきました。

奥沢水源地の保存・活用では、先人たちが遺した歴史的資産と良好な自然景観を調和させ、市民とともに後世に伝承していきます。

7

基本方針（案）

方針1 歴史的資産を生かして、水道水を作るしくみを伝える場とします

- ・ 歴史的価値のある水道施設を活用し、「水道水を作るしくみ」を広く市民に伝えます
- ・ 明治・大正時代の土木技術が結集した水道施設を後世に伝える場とします
- ・ 水面の痕跡を活用し、「水の面影」をイメージとして演出します

方針2 自然景観を生かして、風景を楽しむ場とします

- ・ 水すだれの景色など、自然景観をゆったりと楽しむ場とします
- ・ 歴史的資産と自然景観が調和した心に残るような風景を創出し、四季が織りなす彩りを楽しむ場とします
- ・ 奥沢の森や水辺を観察するなど、環境教育の場として活用します

方針3 水と親しむ市民の憩いの場とします

- ・ 来訪者が安心して安全に散策できる公園緑地とします
- ・ 川の流れる水の音が聞こえるなど、周囲の自然と調和させながら、安らぎ憩うことのできる親水空間とします

8

④ゾーニング(案)について

- i 活動メニュー (案)
- ii 利用モデル (案)
- iii ゾーニング (案)
- iv 活動メニューイメージ (案)

9

i. 活動メニュー (案)

学習：水づくりの歴史、自然環境 など

憩い：くつろぐ、風景、花見、紅葉 など

交流：水あそび、ピクニック、森あそび など

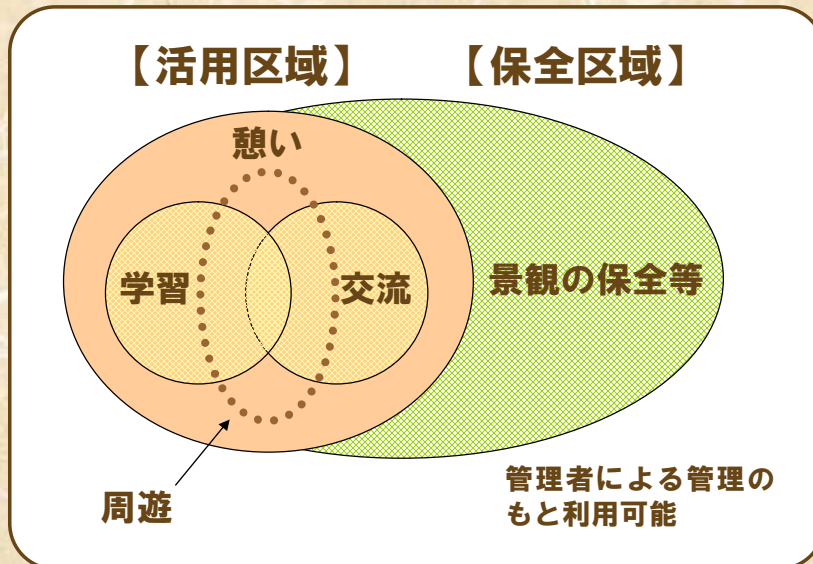
周遊：散策、ノルディックウォーキング、ジョギング など

保全：景観維持、水道施設として利用 など

10

ii. 利用モデル（案）

水源地の特性を踏まえ、必要となる機能をモデル化すると、人の立ち入りを前提とした「活用区域」と景観の保全等を目的として立ち入りに制限を設ける「保全区域」に分けられます。



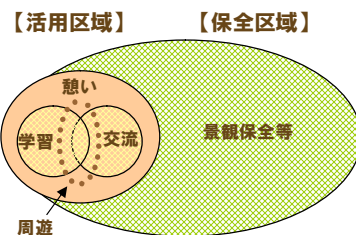
11

iii. ゾーニング（案）

景観保全を基本に、段階的なゾーンを設定します。

短期計画：

既存の施設を最大限に生かしながら、水源地を周遊できるゾーニング設定

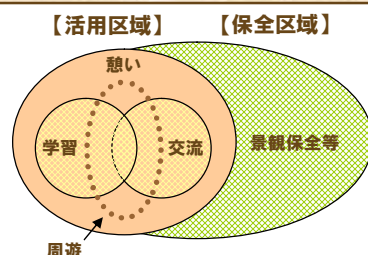


中・長期的な実現のための条件

利用者の安全に配慮した散策路を設置（人道橋設置、安全柵設置など）

中・長期計画：

水源地内の自然と共存しながら、より広く活用できるゾーニング設定



12

ゾーニング（短期計画）

保全区域

○水道施設として利用

交流・学習ゾーン

案内ひろば

○総合案内

憩いひろば

○歴史・環境学習

○水あそび

○眺望 ○散策

ふれあいひろば

○環境学習

○ピクニック

周遊散策路

○散策（花見・紅葉）

保全区域

○景観維持

保全区域

○景観維持

○ たまり空間

● 主動線

●●● 副動線

0 25 50 100 200m

ゾーニング（中・長期計画）

保全区域

○水道施設として利用

交流・学習ゾーン

案内ひろば

○総合案内

憩いひろば

○歴史・環境学習

○水あそび

○眺望 ○散策

ふれあいひろば

○環境学習

○ピクニック

散策ゾーン

○散策（花見・紅葉）

○森あそび

保全区域

○景観維持

散策ゾーン

○散策（花見・紅葉）

○眺望

保全区域

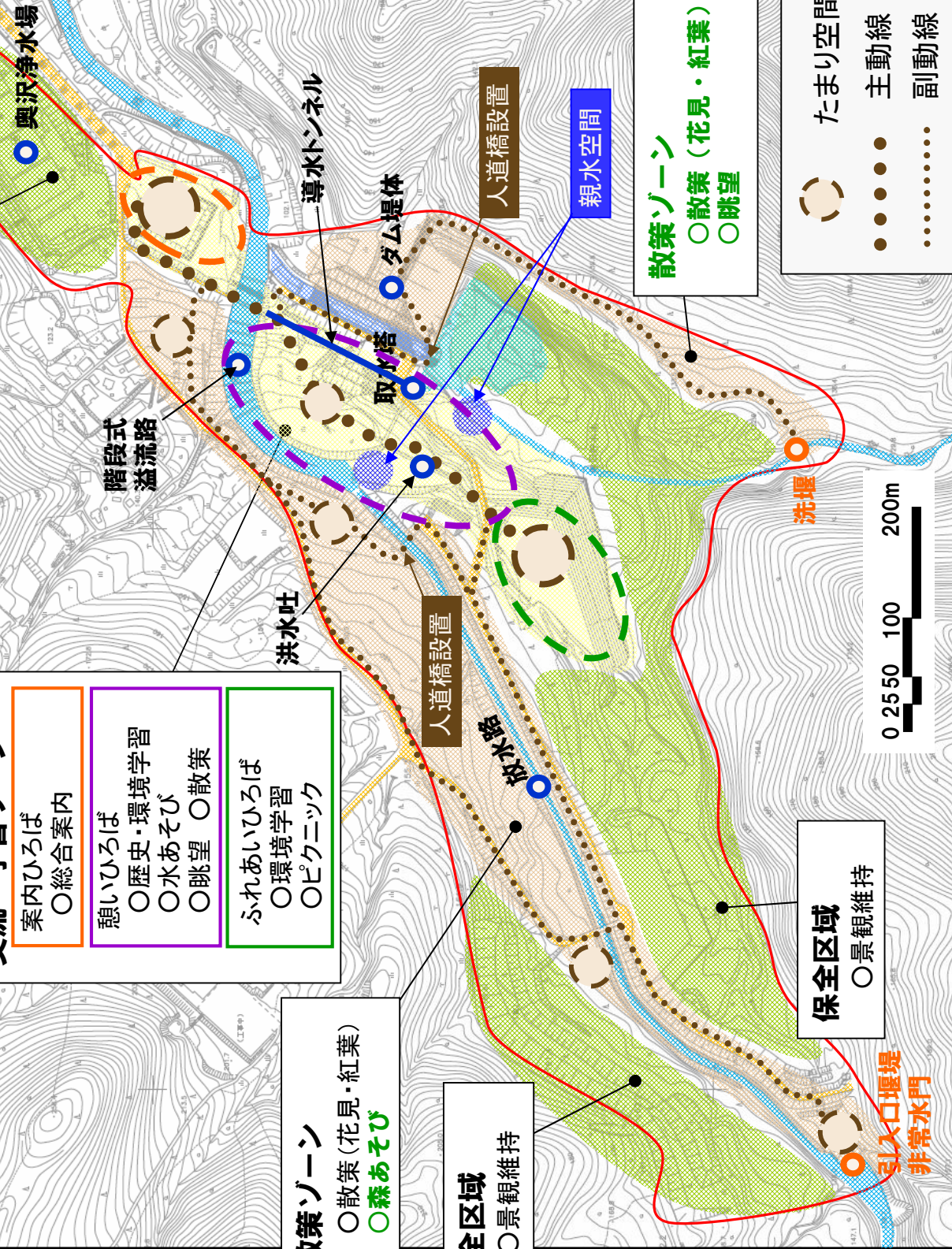
○景観維持

○たまり空間

● 主動線

● 副動線

0 25 50 100 200m



IV.活動メニューイメージ（案）

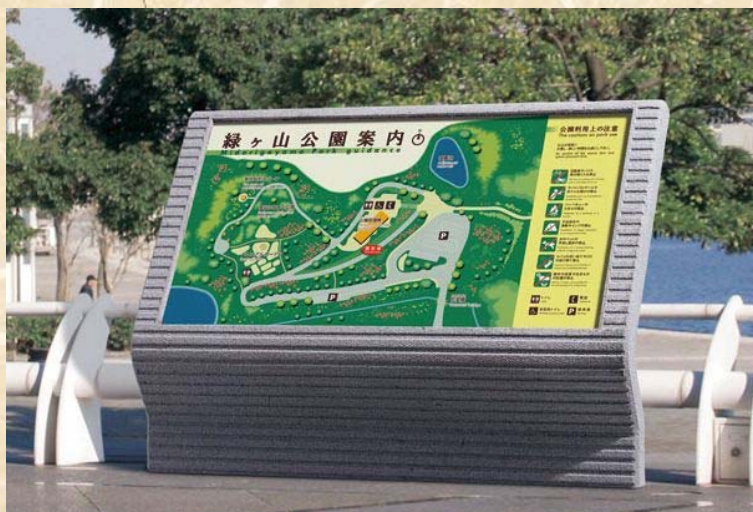


貯水池東側から取水塔を望む(創設当時)

15

総合案内

水源地の表玄関として、訪れる人に水道施設の歴史などの情報提供（模型・パネルや博物館との連携により情報発信）

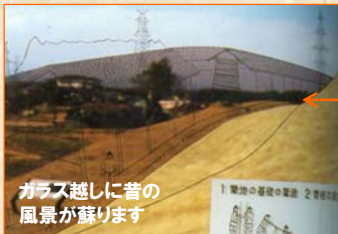


総合案内板のイメージ

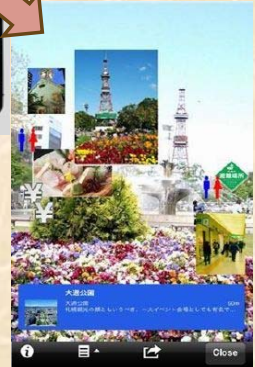
16

歴史学習

小樽水道のはじまりとなる施設（創設水道施設）を安全に見学するとともに、散策や休憩をしながら水道の歴史を学べる場（案内板やIT技術などを利用）



景色など、特定の場所でカメラをかざすと周辺情報や写真が表示



「水の面影」イメージ

スマートフォンの利用イメージ

17

環境学習

市民の手で木・森・花を育てたり、水辺の環境に触れるなど、自然の大切さを学べる場



植樹のイメージ

18

水あそび

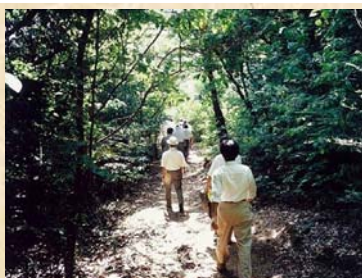
地形を生かし、子供たちが水辺で安全に水と親しむ場
(親水空間)



親水空間のイメージ

散策

こもれびを浴びながらの散策など、水すだれの景色や
桜・紅葉などの水源地の風景を楽しみむ場



散策路のイメージ



人道橋のイメージ



たまり空間のトイレと
水飲み施設のイメージ



たまり空間の休憩施設のイメージ

眺望

奥沢水源地の旧貯水池が一望できるダム堤体の上などから、ランドマークとなる取水塔とともに山々の移り変わる四季の風景を楽しむ場



堤体からの眺め



案内板のイメージ

ピクニック

家族や仲間たちと食事などを楽しみながら、豊かな自然のなかでゆったりとすごす場



芝生広場のイメージ（神戸市高塚公園）

森あそび

どんぐりひろいや虫とりなど、森の中で木のぬくもりを感じながら遊べる場



森あそびのイメージ

景観維持

奥沢の景観を後世に伝えるため、可能な限り手を加えない形で維持する



水源地の風景